

家庭内での中毒事故防止チェックリスト

1. 使用中は子どもを意識する

- 塗り薬や保冷剤などをおもちゃ代わりに持たせることはない。
- 床や畳に置いている液体蚊取り、ホウ酸団子を子どもがすぐに見つけて口に入れることを意識して、子どもがいる所では使用しないようにしている。
- 化粧品は子どもの前で使用しないようにしている。
- 化粧品の中ではマニキュア、除光液、香水、染毛剤は特に危険であることを知っている。
- 電化製品のリモコンやおもちゃなどの電池ボックスの蓋(ふた)は、確実に閉まっている、電池ボックスのネジは緩んでいない。

2. 使った後はきちんと片付ける

- タバコはもちろん吸殻が入った灰皿も子どもの手が届かない場所に片付けている。
- タバコや薬の入ったバッグ類にも注意して、片付けている。
- 灯油の給油ポンプ、ポンプ受け、ポリタンクは子どもの手が届かない場所に片付けている、玄関などに放置していない。

3. 保管方法を工夫する、子どもの成長に応じて保管場所を変える

- 洗剤、カビ取り剤、漂白剤、トイレ用・パイプ用洗浄剤などを保管している洗面台や流し台の扉には安全グッズなどを使用して、子どもが開けられないようにしている。
- 子どもが台に上って、高い場所にある化学製品を手取ることを意識して、テーブルの上や棚の奥であってもタバコや薬などは置かないようにしている。

4. 対象年齢を守る

- おもちゃの外装に表示された「対象年齢」を守っている。

5. 危ないものを子どもに教える

- 錠剤やシロップなどのくすりやアルコール飲料は、菓子やジュースではないことを子どもに教えている。